

TKK 会員および関係者の皆様へ

明けましておめでとうございます。素晴らしい年でありますよう心からお祈り申し上げます。

昨年は、8月27日(日)に小池百合子都知事をお迎えして、15・10周年記念講演会を盛大に終える事が出来ましたこと、また、様々な TKK の重要事業も無事実施出来ましたことは、ひとえに皆様のご協力の賜物と、心より感謝申し上げます。今年も継続事業の催行や、高次脳機能障害者支援法制定に向けて等々、取りかからなければならない事業・活動が山積みです。今年も、皆様のご支援ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。 TKK 理事長 細見 みゑ

～目次～

【1】TKK活動

【2】加盟団体の活動

【3】行政、他団体の活動

【4】連載コーナー「行ってきました、聞いてきました！」

—12 医療圏活動紹介第1回:北多摩南部医療圏

— 各記事の前の ●は活動報告、○は今後の予定 表題の< >はシリーズ開催です —

【1】TKK活動

* *

●2017年度「高次脳機能障害実践的アプローチ講習会」東京慈恵会医科大学1号館3階講堂

====29年度は8/27に記念講演会を開催したことから、従来の年3回ではなく、5月14日、11月26日の年2回の開催でしたが、相変わらず全国から支援者の方々が集まり、熱心に受講してくだるので、有り難くて頭の下がる思いでした。アプローチ講習会は、高次脳機能障害の啓発と理解促進にとどまらず、制度利用、補償や損害賠償、実際面での対応や支援のノウハウなど、明日から役立つ内容を、当障害に精通した先生方を講師にお迎えして「分かり易く」講義していただくのが「ミソ」です。お陰様でアンケート結果も好評でした。特に、5月14日の北岡賢剛先生(社会福祉法人グロー)の講義は、高次脳機能障害者支援法制定を願う我々関係者にとって、重要な起点となりました。 ==== 細見 みゑ

●平成29年度TKK主催「医療及び家族相談会」

====29年度は、30年1月28日・2月18日・3月18日が残っていますが、今時点では、29年6月25日・7月30日・9月24日・10月15日・12月10日の日曜日の午後、計5回実施いたしました。東京都心身障害者福祉センターと東京慈恵会医科大学附属病院のご協力のもと、会場を交互に使用させて頂き、各回とも、医師と TKK家族が相談支援員となり、計14組の方々のご相談に対応いたしました。まだ高次脳機能障害なんて言葉が存在しない時代の、子供の頃の交通事故による頭部外傷により、苦難の人生を歩んで来られた方が、30数年ぶりに高次脳機能障害と診断されたことにより、ようやく、制度利用と損害賠償請求が出来ることになったこと。また、脳腫瘍の手術により治癒する予定であったが、予後が悪いのに高次脳機能障害と認めてもらえなかった方々への診断と制度利用の支援など、まだまだ、当障害の理解に阻まれておられる方々への相談支援の大切さを痛感しました。 ==== 細見 みゑ

<高次脳機能障害 2018 年 実践的アプローチ講習会>

支援者やご家族へ、より実践的で、すぐに役立ち、且つ、分かり易く解説する、高次脳機能障害者への対応についての講習会です。高次脳機能障害をもつ方とご家族を取り巻く今最も必要なテーマについて、各分野の専門家の方々 12 名を講師にお迎えし、例年通り年3回シリーズで開催します。

第 1 回 5/27(日)開催のテーマ、講師は次の通りです。

- ① 菅原 誠氏…東京都立中部総合精神保健福祉センター/副所長/精神科医
[高次脳機能障害者の就労と復職に向けた精神科リハビリテーション]
- ② 廣實 真弓氏…帝京平成大学/言語聴覚科/言語聴覚士
[高次脳機能障害のある方のコミュニケーション障害の特徴とその対応]
- ③ 中村 美恵子氏…東京中央障害年金相談センター/所長/特定社会保険労務士
[高次脳機能障害の障害及び労災認定の流れとポイント]
- ④ 渡邊 修氏…東京慈恵会医科大学附属第三病院/リハ科/医師
[事例検討: 困難事例について会場の皆さんと討論会]

◇お申し込み: tkkapproach@gmail.com まで

◇問合せ先: 090-1734-5114 / kurakata@brain-tkk.com (担当: 蔵方)

詳細は: http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardAct=view&readNum=187

<医療及び家族相談会>

高次脳機能障害に精通した医師と当事者を家族に持つ TTK の仲間達が、人生の再構築に向けて相談支援致します。

2018 年 1 月～2019 年 2 月の間に 9 回開催、いずれも 13:30～16:30

・平成 30 年 2/18、4/15、8/26、11/25 の開催場所: 東京都心身障害者福祉センター12 階会議室

・平成 30 年 1/28、3/18、7/8、10/14、平成 31 年 2/17 の開催場所: 慈恵会医科大学付属第 3 病院 2 階会議室

◇お申し込み: 090-1734-5114 / kurakata@brain-tkk.com (担当: 蔵方)

先着順に1組につき1時間、各回とも3組まで、ご相談に応じます。

【2】加盟団体の活動

* *

-
- 高次脳機能障害と囲碁&心の唄コンサート 主催: フォーラム大田高次脳 1 月 7 日(日)11 時～16 時
大田文化の森ホール、プレイベント 囲碁対局(品川区立総合区民会館きゅりあん 1 階 ホワイエにて)
1 部 当事者との座談会 2 部 心の唄コンサート(木谷正道さんと心の唄バンド 当事者家族の合唱団)
◇連絡先: 栗城 Email: kurishiro@live.jp

○高次脳機能障害と家族の会主催イベント

1) お話し伺います

1 月 14 日(日)14:00～16:00 あんさんぶる荻窪(杉並区荻窪 5 丁目 15 番 13 号)

2) ランチ&交流会

2 月 12 日(月・祝)10:00～15:00 大久保地域センター調理室他(新宿区大久保 2 丁目 12-7)

心も体も温まるポトフをみんなで作っていただきます。ご家族の方、当事者の方でお話を聞いてほしいと思っておられる方がいらっしゃいましたら、別室のご用意もあります。

◇お問い合わせ: koujinou_kazokukai@yahoo.co.jp

○ハイリハ東京定例会・講演会 1月27日(土) 台東区民会館&東京都立産業貿易センター(台東館)(浅草駅下車)

定例会 10:00~12:00、講演会 13:30~15:00

講演「社会的行動障害について」(仮題) 安部 恵理子氏 (国リハ 自立支援局第一自立訓練部生活訓練課)

※会員以外の方の参加も受けておりますので、ご興味のある方はぜひお越しください。会場費:100円/人

◇お問い合わせ: cycle252000@yahoo.co.jp

○「春の音コンサート2018」 主催:世田谷高次脳機能障害連絡協議会 後援:世田谷区、世田谷ボランティア協会

協力:失語症会話パートナー、世田谷区民会館2階 集会室(東京都世田谷区世田谷4-21-27)

1月28日(日)13:00~15:30、資料代:900円

◇お問い合わせ:電話 090-6507-4524(事務局:植田) Fax 03-3413-5039

=== 2008年に、高次脳機能障害者が舞台の上で主役となり、それぞれの表現方法でメッセージを伝える場としてスタートした『春の音コンサート』は昨年で10回を迎えました。主に会場としていた玉川区民会館の建て替えによって、今年は世田谷区民会館集会室です。フラットな空間で雰囲気も違いますが、「発表できる場が欲しい」という出演者の方々の熱意に少しでも応えたいと思います。今年も一緒に楽しみましょう。 ===代表 今井 雅子

○「失語症カフェ・ワックル」 日本失語症協議会と言語生活サポートセンターの協働事業、2月18日(日)13:30~16:00

言語生活サポートセンター訓練室(東京都杉並区荻窪5-16-14 カパビブル1F)

○交通事故被害者家族ネットワーク主催交流会・講習会

- ・1/27 群馬高崎 MSW 講習会 (高崎市内)
- ・2/2 院内セミナー(東京都リハビリテーション病院)
- ・2/14 千葉県西協議会(東京湾岸リハビリテーション病院)
- ・3/18 中部療護センター交流会
- ・3/31 千葉県 MSW 講習会(船橋文化会館)
- ・4/14 東京 MSW 講習会(東京都リハビリテーション病院)
- ・4/15 千葉療護センター交流会

○VIVID(ヴィヴィ)からのご案内

就労継続支援 B型事業所「フレッシュスタート目白」、4月から営業開始

新しい年とともに、VIVIDも心新たにスタートです。今後ともお力添え賜りますようお願い申し上げますとともに、本年が皆さまにとり佳き年となりますようお祈り申し上げます。

フレッシュスタート目白準備室 TEL:03-6908-3663 FAX(兼用):03-6908-3664 メール:hbd-vivid@vivid.or.jp
161-0033 新宿区下落合4-20-16 ソレイユ目白103 NPO法人VIVID TEL:03-5849-4831

-----∞
【3】行政、他団体の活動

* *

-----∞
●港区講演会日時 10月22日(日)午後1時30分~4時30分 港区立男女平等参画センター1階リーブラホール

====講演1は「高次脳機能障害の方への地域支援～家族会を取り巻く支援システムについて」。

納谷敦夫先生(なやクリニック院長/神経精神科医)は遠く大阪から来てくださり、グループホーム設立と運営、成年後見利用についてなどを本音で語ってくださいました。…成年後見は取らずに済めば取らない方が良いとのこと…。講演2は「高次脳機能障害へのリハビリテーション」～グループ訓練を中心に～、石川 篤先生(慈恵医大本院リハビリテーション科/作業療法士)の講義。病院を退院した後も、または途中からでも、通院でグループ訓練が受けられれば良いのにとの思いに尽きました。

==== 細見 みゑ

●「東京都 平成 29 年度第 2 回 高次脳機能障害者相談支援研修会」 主催:東京都心身障害者福祉センター
10月31日 東京都社会福祉保健医療研修センター

====第1部講演「高次脳機能障害に関する国の施策の動向—社会的行動障害を中心—」は、国リハ 高次脳機能障害情報・支援センター長で神経内科医の深津玲子先生が講演。国の施策の動向についてはポイントを押さえたご説明、社会的行動障害については、神経内科学的画像解析により脳の機能を洞察して、社会的行動障害の発生原因について説明があり、且つ豊富な高次脳機能障害のエビデンスの紹介、認知リハビリテーション及び対応など新鮮な内容で、興味深くお聞きしました。

第2部実践報告「国リハ 生活訓練課における社会的行動障害への支援の取組」は、同じく国リハの自立支援局生活訓練課でOTの安部恵理子先生が講演。自立支援局生活訓練課での訓練内容の紹介、並びに社会的行動障害のある人への支援(訓練)を、豊富な事例を通して分かり易く解説。丁寧な取組と評価・分析には感動いたしました。重度の社会的行動障害のある人を支えるためには、居場所、その家族への支援、対応できる支援者の育成、支援ネットワークの強化であるとのこと。第1部、2部とも、非常に聴き応えのあるご講演でした。

==== 細見 みゑ

○「交通事故生活者生活支援アドバンス研修会(東京会場) 主催:公益社団法人 日本医療社会福祉協会
—医療ソーシャルワーカー、医療社会事業の普及・発展を支援する人々によって構成されている団体

1月21日(日) 10:00～16:30 情報オアシス神田セミナーハウス北スペース(東京都千代田区神田多町 2-4)

詳細は: http://www.jaswhs.or.jp/training/information_detail.php?@DB_ID@=528

○「第2回日本安全運転・医療研究会 主催:日本安全運転・医療研究会

1月21日(日) 日経ホール&カンファレンスルーム、詳細は: <http://www.reha-drive.jp/>

◇問い合わせ:東京都リハビリテーション病院 tokyo.reha.drive@gmail.com

○「港区高次脳機能障害研修会」(支援者・専門家向け) 主催:港区 時間、場所は2回とも18:30～20:30

港区立男女平等参画センター リーブラホール、参加対象者:支援者・専門家、及び当事者・家族・関心のある方

[第1回目] 1月24日(水) 18:40～20:20

講演:高次脳機能障害者の復職、講師・座長 羽田 拓也氏(慈恵医科大本院 リハ科/医師)

パネリスト:当事者 A 氏とご家族、小出由貴子(港区立障害者保険福祉センター/自立訓練支援員)

石川洋平(港区立障害者保険福祉センター/相談支援専門員)

[第2回目] 2月7日(水) 18:40～20:20

講演会及び皆さんと事例検討会:感情・行動・意欲の障害など、高次脳機能障害の困難事例

講師:渡邊 修氏(慈恵医科大第三病院 リハ科/医師)

◇申し込み:みなとコール 03-5472-3710(保育が必要な方はお申し出ください。)

問合せ: 港区障害者福祉課 03-3578-2457

詳しくは: http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardAct=view&readNum=184

○平成29年度 高次脳機能障害講演会～高次脳機能障害の基礎と回復を促す基本的な考え方～ 主催: 小金井市

1月27日(土)15:00～17:00 商工会館3階 萌え木ホールA・B会議室 小金井市前原町三丁目33番25号

講師: 渡邊修氏(東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座教授)

当事者からの体験: 村田雅英氏(高次脳機能障害者小金井友の会いちごえ会副代表)

定員: 50名(保育・手話 有)、申し込み: 1月25日(木)迄に下記へ。

◇問合せ・申込: 小金井市自立生活支援課 TEL042-387-9841 FAX042-384-2524

○「台東区 高次脳機能障害 講演会」のお知らせ ～高次脳機能障害をよりよく知るために～主催: 台東区

2月2日(金) 13:30～15:30 台東保健所 3階 大会議室、定員: 60名

講師: 羽田 拓也氏(東京慈恵会医科大学リハ医学講座/医師)

相談会: 14:30～15:30

アドバイザー: 羽田 拓也氏、細見 みゑ・細見 好昭(家族会を代表してTKKから)

東京都心身障害者福祉センター担当者

◇申し込み・お問い合わせ: 台東保健所 保険予防課 精神保険担当 TEL 03-3847-9405

○平成29年度 第2回支援コーディネーター全国会議・シンポジウム 主催: 国リハ 2月16日(金)13:00～16:00

大手町サンケイプラザ 3階会議室(東京都千代田区大手町1-7-2)

対象者: 高次脳機能障害支援拠点機関に所属する支援コーディネーター等

詳細は: http://www.rehab.go.jp/brain_fukyu/event/

○江戸川区「こども高次脳機能障害講演会」 主催: 江戸川区地域活動センターはるえ野 共済: 東京作業療法士会

2月16日(金) 18:30～20:30 タワーホール船堀4F 研修室 (東京都江戸川区船堀4-1-1)

講演①「小児高次脳機能障害について」

講師: 太田 令子氏(富山県高次脳機能障害支援センター/アドバイザー)

講演②: 「菜奈子との10年～父親の立場から」

講師: 清水 一滴氏

定員: 80名

◇問い合わせ: 東京都リハビリテーション病院(代表 03-3616-8600) OT科 担当 清野

○「平成29年度第3回 高次脳機能障害相談支援研修会」 主催: 東京都心身障害者福祉センター

2月28日(水) 12:50～16:15 茗荷谷 東京都社会福祉保健医療研修センター 702教室

高次脳機能障害の評価に用いる神経心理学検査を学ぶ - 体験を通して -

講師: 平林 一氏(鹿教湯病院 心理療法科長/臨床心理士)

対象: 都内行政及び地域機関、医療機関等の高次脳機能障害者支援に関わる職員

定員: 140名、締切り: 2月14日(水)

◇申込・問合せ先: 都心障害センター 地域支援課 高次脳機能障害者支援担当 守矢・明智・水柿

○高次脳機能障がい者への地域の自助(福祉制度以外)による支援を考える

企画:いたばしボランティア・市民活動フォーラム 3月11日(日)13:30~16:00 仲宿地域センター 3階レクホール

板橋区氷川町12番10号(最寄駅 都営三田線板橋区役所前駅 徒歩七分)

講師:蒲田寺子屋 松岡恵子さん

※参加希望者は当日、直接会場へ

◇問い合わせ:みんなのセンターおむすび 電話 03-3579-7059

<平成29年度 港区 高次脳機能障害 相談会>

毎月、第3木曜日に開催しています。詳しくは、次を参照ください。

<https://yykoujinou.wixsite.com/lawyer-and-lawyer-jp/2017-minato-soudan>

○東葛菜の花「高次脳機能障害者と家族の会」のホームページの新開設について

(新サイト)

← (旧サイト)

<http://toukatsu-nanohana.com/>

<http://members3jcom.home.ne.jp/toukatsu-nanohana/>

<http://toukatsu-nanohana.na.coocan.jp/>

お気付きの点は下記にご連絡ください。

東葛菜の花「高次脳機能障害者と家族の会」◇(連絡係り)綿貫 吉治 千葉県柏市酒井根2-28-7

yh-watanuki@jcom.home.ne.jp TEL/FAX 04-7174-3998

【4】行ってきました、聞いてきました！

* *

メルマガ編集担当者が加盟団体、関係団体の活動を見学したり、高次脳機能障害関連の催しものに参加した際、その内容、印象をご報告しています。今号からは都の12医療圏での高次脳機能障害の支援活動、事業をシリーズで紹介。

第1回目は北多摩南部医療圏をご紹介します。

<報告者:TKK 理事 矢野 久喜>

北多摩南部医療圏(武蔵野市・三鷹市・府中市・調布市・小金井市・狛江市)

拠点病院:東京慈恵会医科大学附属第三病院 事業開始:平成24年度

地域の特徴/支援施設等	主な活動/業績
<p>武蔵野市・三鷹市・府中市・調布市・小金井市・狛江市を含む医療圏、全人口は合計100万人以上に達する。</p> <p>以上各市の障害福祉課が高次脳機能障害について主体的に取り組み、一部、市内事業所に相談業務を委託している。</p>	<p>■地域支援研修会 年3回程度開催、開催場所は慈恵医大看護学科講堂(狛江市)および調布市福祉センター。高次脳機能障害の理解や支援のための講演、地域で活動する事業所等からの報告、事例検討等を実施。福祉/医療関係者をはじめ、家族/当事者を含め毎回50~100名が参加。今年度は7月、11月、30年2月(予定)の日曜日午後開催。</p> <p>■各市主催研修会、家族相談会等への参画 圏域内各市に出向き、定期的に研修会、相談会を実施。要望があれば、施設にも出向いている。</p> <p>■地域支援マップ 地域の支援機関/施設のマップを各市、各機関の協力を得て25年度に初版を作成、その後第2版を発刊。29年度内に第3版を発刊予定。</p>

●渡邊修先生(慈恵第三病院リハビリテーション科)の声 ～インタビューから～

(2017.11.19 北多摩南部医療圏 高次脳機能障害地域支援研修会会場にて)

【今までの経緯】

東京慈恵会医科大学附属第三病院が、当医療圏での高次脳機能障害支援事業を請け負うまで、「高次脳機能障害」のリハビリテーション治療および支援が、入院治療では決して完結しないことから、地域が連携して高次脳機能障害者の支援に当たる必要性をひしひしと感じていました。そのため、都内に存在する社会資源を広範囲に実際に見学し、どこでどのようなことを誰が行っているのかを5年をかけて視察してまいりました。



公的支援機関の方々、就労支援機関の方々、精神科病院の方々、「きょうされん」の方々とも何度も意見交換を行いました。その結果は、東京都より「高次脳機能障害実態調査」「高次脳機能障害ニーズ調査」等でまとめて公開してあります。高次脳機能障害者支援には、病院での治療が終わったあと、途切れることなく適切な地域の社会資源の利用が回復に必須であると考えていました。

【本医療圏での活動の現状】

- ① 市の支援機関(福祉事務所、福祉課、保健所、保健センター、地域生活支援センター、社会福祉協議会、就労支援機関、作業所等)との連携: 当大学の講堂や地域の福祉センターでの研修会をはじめ、各市に赴いての事例検討会、個別相談会は高次脳機能障害の啓発を行い、また新たな患者様の外来受診を促進しております。
- ② 患者家族会との連携: 合同の相談会、当院内での相談窓口などピアカウンセリングとしての役割が大きいです。
- ③ 地域支援マップの作成: 平成29年度に第三版を発刊予定です。マップによって、社会資源の見える化を図っています。患者様、ご家族、専門職の方の参考資料とさせていただきます。またマップの作成過程そのものが、地域との連携強化に役立っています。



【今後の展望】

今年度、この支援マップには新たに20以上の施設が掲載されます。このように、高次脳機能障害を支援する施設は増えています。高次脳機能障害に対する対応方法が徐々に理解されてきているという背景もあると思います。6市を中心に、都内全域を対象に、高次脳機能障害支援のネットワークが形成されることを目標にしています。そのネットワークには、急性期病院も入る仕組みが求められます。



以上